



浜松市姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館 のじませいじ 「野島青茲展2024」の開催について

このたび、浜松市姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館では、浜名区細江町出身の日本画家野島青茲の作品を公開する「野島青茲展2024」を開催します。

また、同時期に野島青茲の生家である「吉野屋」においても作品の展示が行われ、細江図書館でも野島青茲関連の書籍を展示するなど、地域で連携して事業を実施します。

記

1 展示の概要

日時	令和6年4月27日（土）～令和6年6月9日（日） 午前9時～午後5時 （休館日：月曜日、5月7日（火）、5月14日（火）～17日（金）※5月6日（月）は開館）
会場	浜松市姫街道と銅鐸の歴史民俗資料館 （浜名区細江町気賀1015-1 電話053-523-1456）
内容	人物画「モデル」をはじめとした所蔵する野島青茲の作品のうち8点を展示
観覧料	無料

2 野島青茲について

本名は清一^{せいいち}。大正4年（1915）に、資料館からほど近い旅館吉野屋に生まれる。16歳で松岡映丘^{えいきゅう}に入門し、東京美術学校の日本画科で学ぶ。卒業後は映丘門下生による研究会に参加して研鑽を重ね、新しい日本画の創造を志す若手画家の一人として注目を集めた。映丘の没後は中村岳陵^{がくりょう}に師事し、昭和24年（1949）の日展で特選を受け、昭和36年（1961）には日展審査員、日展会員となる。昭和42・43年（1967・68）には、法隆寺金堂壁画の再現模写にも参加している。昭和46年（1971）に55歳の若さで逝去。落ち着きのある爽やかな色調と、簡潔ながらも的確に対象を捉える線描で、特に人物画、美人画での確固たる地位を築いた。

3 事業連携について

野島青茲の生家である吉野屋は、旅館から日本料理店に業態を変えながら現在も営業を続けており、昭和初期に建設された四棟の建物は国登録有形文化財となっています。4月29日（月）～5月5日（日）には、所蔵する野島青茲作品の展示が行われます。

また、野島青茲作品^{しゅんおうてん}「春鶯囀」を常設展示している細江図書館でも、野島青茲関連書籍を4月25日（木）～5月7日（火）の期間で展示しています。あわせてご紹介いただければ幸いです。

